

## 管内のいちおしスポット



## 磐梯山

■ 会津森林管理署 <http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/aizu/index.html>  
〒965-8550 福島県会津若松市追手町5-22  
TEL:0242(27)3270(代表) FAX:0242(27)3272



三条潟と磐梯山

福島県の郡山方面から、会津地方に入ると、猪苗代湖の北にそびえる活火山「磐梯山」がその端正な姿を現します。

磐梯山は、大磐梯（1,819㍎）を主峰とし、櫛ヶ峰（1,636㍎）、赤埴山（1,427㍎）の三峰からなる成層火山です。長い歴史の中で幾度となく爆発を繰り返し、現在の姿となっております。

かつて、磐梯山の北側には、三峰のほかに小磐梯という山がありましたが、明治21年の水蒸気爆発による噴火で小磐梯の山体が崩壊し、切り立った崖に岩肌が露出した爆裂火口が生じました。この時に流下した岩なだれにより北側山麓に点在する村々を飲み込むなど、甚大な被害を及ぼすとともに、川がせき止められて桧原湖や五色沼をはじめとする裏磐梯の湖沼群が誕生しました。磐梯山は南が表磐梯、北が裏磐梯と呼ばれ、表磐梯から見ると山体は整った形をしているように見えますが、裏磐梯から見ると、一変して山体崩壊の跡の荒々しい姿を見せています。



デコ平自然ふれあい探勝路、湿原内遊歩道

平成23年には、「人と大地の関係を、楽しみながら学習できる公園」として日本ジオパークに認定されました。地元市町村が中心となり、磐梯山周辺地域に関する、自然、地質、歴史・文化について10箇所のエリアを設け「ジオサイトモデルコース」プランも続々と設定され、日本はもとより世界に向けPRしています。

磐梯山周辺は、標高の違いに応じてコナラ林・ブナ林・アオモリトドマツ林などの森林があります。裏磐梯には明治の噴火に伴う岩なだれ上に、遷移途上のアカマツ林やハンノキ林、貧栄養湖のコケ植物、草原などの群落があります。また、磐梯山周辺には氷河期の遺存植物が見られる高層湿原の雄国沼湿原と赤井谷地があります。

登山、トレッキング、キャンプやウインタースポーツのコース環境も整備されており、四季を通じて足を運べる観光地区となっております。

自然、地質、歴史・文化あふれる磐梯山に興味のある方は是非一度お出かけになり、大自然の中に身を委ねてみてはいかがでしょうか。



デコ平自然ふれあい探勝路遊歩道

(会津森林管理署 広報広聴連絡官 渡邊 修)  
(写真提供 会津森林管理署 須藤 秋夫)